

教師集団の共通基盤を作る

私は、「共通理解」とか「共通認識」という言葉が苦手です。  
 それは、どうもそれらの言葉が「(わるい意味で)足並みをそろえて」と同じ意味に聞こえるからです。  
 ひどい学校になると、各先生が出す学級通信の号数まで制限されるそうです。  
 私は、そういうやり方は結果として教師の創造性を殺してしまうのだと思います。  
 そう、旧来の共産主義国のように。  
 しかし、良い意味で、教師間で「共通理解」「共通認識」をすることはとても重要なことだと考えています。  
 前号で書いた「苦小っ子三か条」もそうした考えから出た仕事でした。

- － 自分から挨拶
- － まず「はい」と返事
- － 落ちているゴミを拾う

前号にも載せましたが、上がその「三か条」です。  
 さて、これをどうやって制定したのかという話です。  
 私は、自分一人でこうした「三か条」を決めても仕方ないと思っていました。  
 納得できない「三か条」など、だれもきちんと指導しないと考えていたからです。  
 そこで、次のようなアンケートを職員にとることにしました。(回答欄は省略)

1, 低学年における基本的な生活習慣の内容にはどのようなものがありますか。特に重要だとお考えのもの3つをお書きください。  
 (EX. ハンカチちりかみを持ち歩く 朝会った人に挨拶するなど)

2, 中学年における基本的な生活習慣の内容にはどのようなものがありますか。特に重要だとお考えのもの3つをお書きください。

3, 高学年における基本的な生活習慣の内容にはどのようなものがありますか。特に重要だとお考えのもの3つをお書きください。

そして、以下が先生方からの回答でした。

(引用開始)

2、集計結果(カッコ内は人数)

- 低学年
- ・あいさつをする 8
  - ・チャイムが鳴ったら席に着く 5
  - ・返事をする 4
  - ・自分の身のまわりのことを自分でする 2
  - ・ハンカチちり紙 2

・名札をしっかりとつける	1
・給食前に手を洗う	1
・望ましい集団行動ができる	1
・身のまわりを清潔にする	1
中学年	
・あいさつをする	5
・チャイムが鳴ったら席に着く、時刻を守る	5
・返事をする	4
・人の話を聞くときの態度	2
・廊下を走らない	2
・整理整頓	2
・授業の準備をする	1
・忘れ物をしない	1
・上級生下級生への望ましい接し方	1
・自分のことは自分です	1
・ハンカチちり紙を持ち歩く	1
高学年	
・丁寧な言葉遣い	5
・あいさつをする	4
・チャイムが鳴ったら席に着く	2
・授業の準備をする	2
・自分の仕事は責任を持ってする	1
・時と場合を考えた言葉遣い	1
・返事をする	1
・衛生に気をつける	1
・TPO にふさわしい言動	1
・小学生にふさわしい身だしなみ	1
・親や家族等への感謝の心	1
・用具を丁寧に扱い	1
・後始末	1
・礼儀	1
・けじめある行動	1
・自分のことは自分です	1
・高学年としての自覚と行動	1
・ハンカチちり紙	1
・規則正しい生活ができる	1

(引用終了)

私は、基本的な生活習慣を「生活の中で毎日繰り返されるような、生きるために必要な、もととなる事柄」(ひどくくだいなあ!)と定義した上で、上の事項をさらにしぼり、月の生活目標と「三か条」を作りました。

私は、それまで曖昧になっていた「基本的な生活習慣(の中身)」と「学校で指導すべき内容」を、アンケートにより明確にし、全職員で指導するということを徹底したわけです。

### めあての書き方

さて、前項のようなことをして、月の生活目標を決めました。

それまであった、「明るく元気に生活しましょう」「時間を大切にしましょう」というような月の生活目標はすべて捨てました。

変わって、「3人以上の人に自分から挨拶する」「落ちているゴミを拾う」などのような目標にしました。

要するに、方向目標から数値目標に切り替えたのです。

つまり、可測性を重視したわけです。

私はしたことがありませんが、「今日のめあて」を決める学級があると思います。

補欠に入るとやってる学級があります。

そのときに、次のようなめあてが必ず子どもから出てきます。

「体育の時間、一生懸命にやる」

私は、猛烈にツッコミを入れます。

『どのくらいやったら、一生懸命に体育をしたことになるの?』

子どもには、評価できるめあてにするという意識がありませんから、どういうめあてなら評価できるのかを教えるわけです。

さて、月の生活目標です。

それを、先生方に示しました。

あわせて、次のような事を各担任に示しました。

帰りの会などで、点検をしてください。「今日目標を守れた人、起立」。これで立った子どもをうんとほめてください。これだけで結構です。説教はいりません。

評価のシステムはシンプルな方がいいのです。

毎日やることだからです。

これによって、生活目標は相当に徹底されたように思います。

徹底というのは、子どもの心の中に目標が意識されている状態を言います。

さて、天小の子どもたちは、今月の生活目標が言えるでしょうか。

#### 小さいけれど重要なこと

先日の私の公開授業で、数秒の小さな事でありながらとても重要なことがありました。

そのことを少し書こうと思います。

私が、次のように指示した後です。

本番のプレゼンでは何に気を付けようと思いますか。グループで相談して一つにしぼりなさい。

30秒くらいして、Tさんが「先生、2つじゃだめですか?」と聞いた場面がありました。

私は、「一つです」と言いました。

一度出した指示は変更しない、という集団統率の原則が頭をよぎったからです。

教師になる人って言うのはたいてい優しく、子どもの要望に応えたいと思っているのです。

私とてそうです。

『テストが終わったら、読書をしなさい』『先生絵を描いてもいいですか』

『いいです』と言いそうになるのをこらえて、『言ったとおりにしなさい』と言います。

結局そのことが集団としての規律や教師の権威を守るために重要なことだからです。